

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	次世代医療用高温超伝導スケルトン・サイクロトロンの設計原理・開発基盤の確立
研究代表者	石山 敦士 (早稲田大学・理工学術院・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、高温超伝導テープを用いた小型・高強度出力の粒子線がん治療用加速器開発に関する提案である。応募者らは、これまでの高温超伝導コイルの解析技術や実験的検討などの優れた研究実績を基盤として、多くの利点を持つ医療用高温超伝導スケルトン・サイクロトロンの開発に必要な基礎技術を確立することを目指しており、本装置の実現が社会的に待望される重要な課題であることから波及効果は大きい。</p> <p>また、本研究が、アルファ線 RI の製造を目指すなど、実現可能性の高い内容であるとともに、課題の抽出と解決方法が提示された綿密な計画となっていることから、着実な進展と成果が期待できる。</p>